

参考資料

「NTG40 ホームページ」アンケート 概要

調査実施日：2007年7月18日～7月19日

対象：全国 58～60歳 計600人(男性:300人/女性:300人)

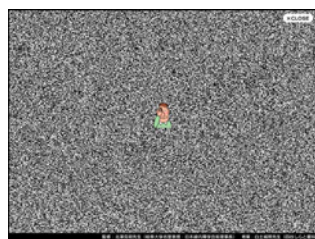
実施方法：インターネット調査

(視野チェックの体験、NTG40の閲覧後、アンケートに回答)

NTG40 ホームページの概要(www.ntg40.jp)

「NTG40 ホームページ」(以下 NTG40)は、NTG についてより多くの方に知っていただき、早期発見・早期治療につなげるため、NTGに関する情報を提供するウェブサイトです。NTG の基本的な情報から早期発見の重要性まで、わかりやすく紹介するほか、NTGの発見につながり得る“視野”チェックができる「簡易自己チェックツール」が体験できます。

NTG簡易自己チェックツール



視野チェック①
簡易版ノイズフィールド



視野チェック②
簡易版FDT



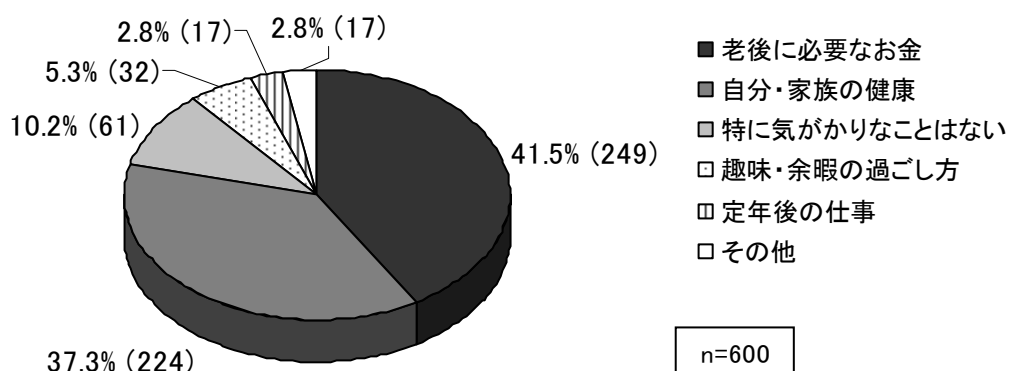
視野チェック③
簡易版NTGセルフチェッカー

※自己チェックツールはあくまでも体験版であり、正確な視野検査は眼科専門医による診察が必要です。

■ 今後の人生で「気がかりなこと」

今後の人生で最も「気がかりなこと」について、41.5%(249人)が「老後に必要なお金」と回答し、次いで37.3%(224人)が「自分・家族の健康」と回答しました。

質問:今後の人生で「気がかりなこと」について、最もあてはまるものを1つお選びください(SA)



■ 今後の健康や身体の影響について心配なこと

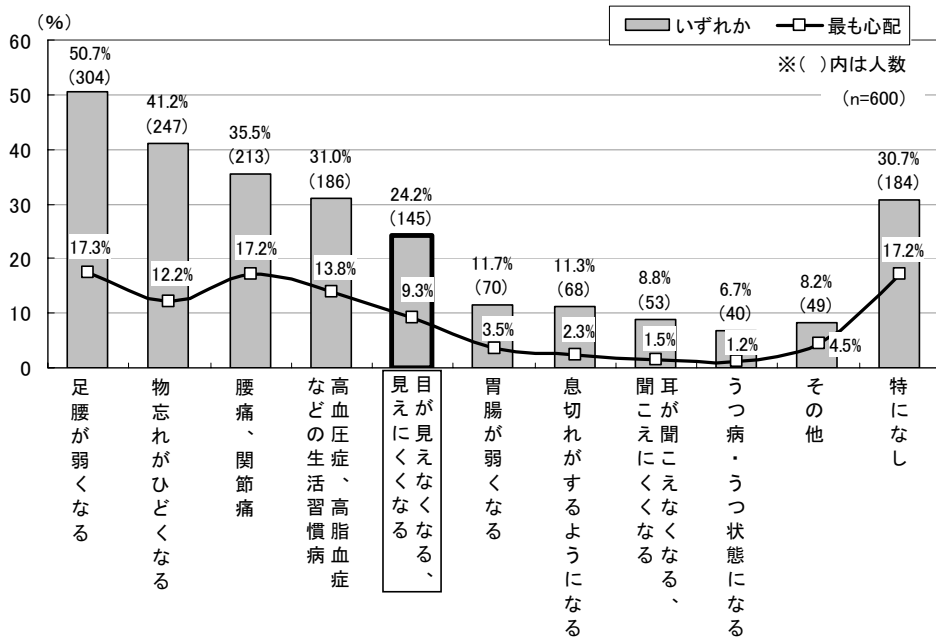
今後の健康や身体の影響について、「足腰が弱くなる」と回答した人が最も多く、「最も心配」「2番目に心配」「3番目に心配」のいずれかを選択した人は、合わせて50.7% (304人)にのびります。

「目が見えなくなる、見えにくくなる」と回答した人は全体の24.2% (145人)で、「最も心配」と回答した人は9.3% (56人)でした。

質問: 今後の健康や身体への影響について、(1番目/2番目/3番目に)心配なことをお選びください(SA)

いずれか: 1番目/2番目/3番目のいずれかを選択した人の割合

最も心配: 1番目を選択した人の割合

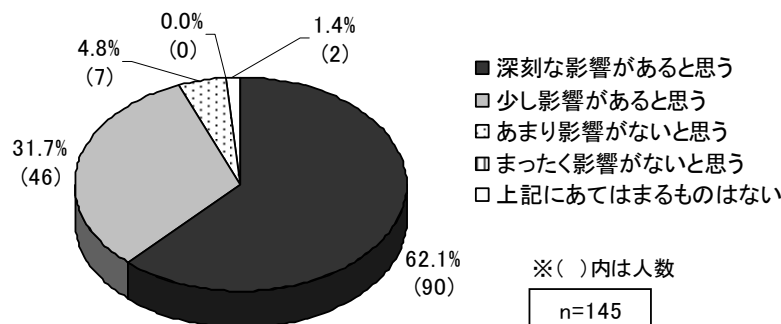


■ 「目が見えなくなる、見えにくくなる」ことの日常生活への影響

今後の健康や身体の影響について、「目が見えなくなる、見えにくくなる」と回答した人(24.2%、145人)のうち、62.1%(90人)が日常生活への影響について「深刻な影響があると思う」と回答しています。

質問: 「目が見えなくなる、見えにくくなる」とお答えの方にお伺いします

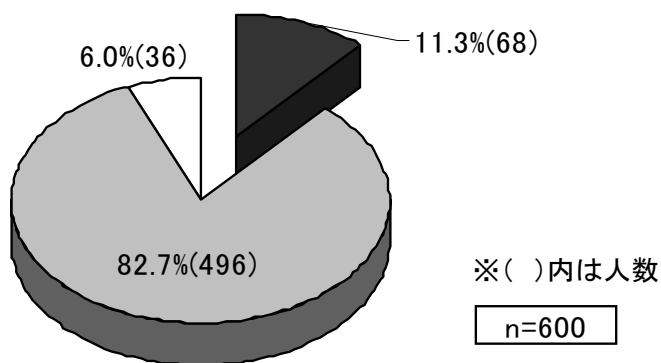
将来、「目が見えなくなる、見えにくくなる」とすると、日常生活にどのくらい影響があると思いますか。最もあてはまるものを1つお選びください(SA)



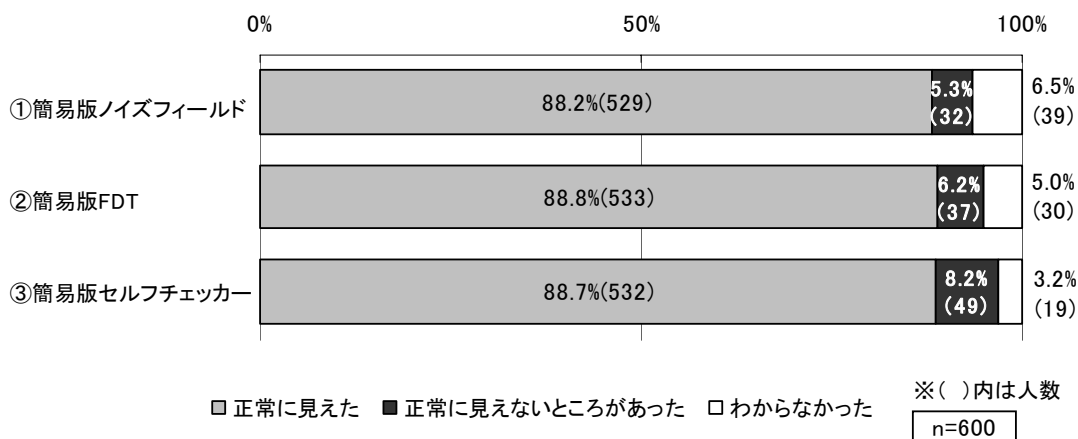
■「視野チェック」の結果

NTG40 で公開している 3 種類の視野の「簡易自己チェック」を体験していただいた結果、1 種類以上のチェックで「正常に見えないところがあった」と回答した人は、全体の 11.3%(68 人)でした。

質問:(それぞれの視野チェックを体験後) 視野の異常なく正常に見えましたか?
(SA)



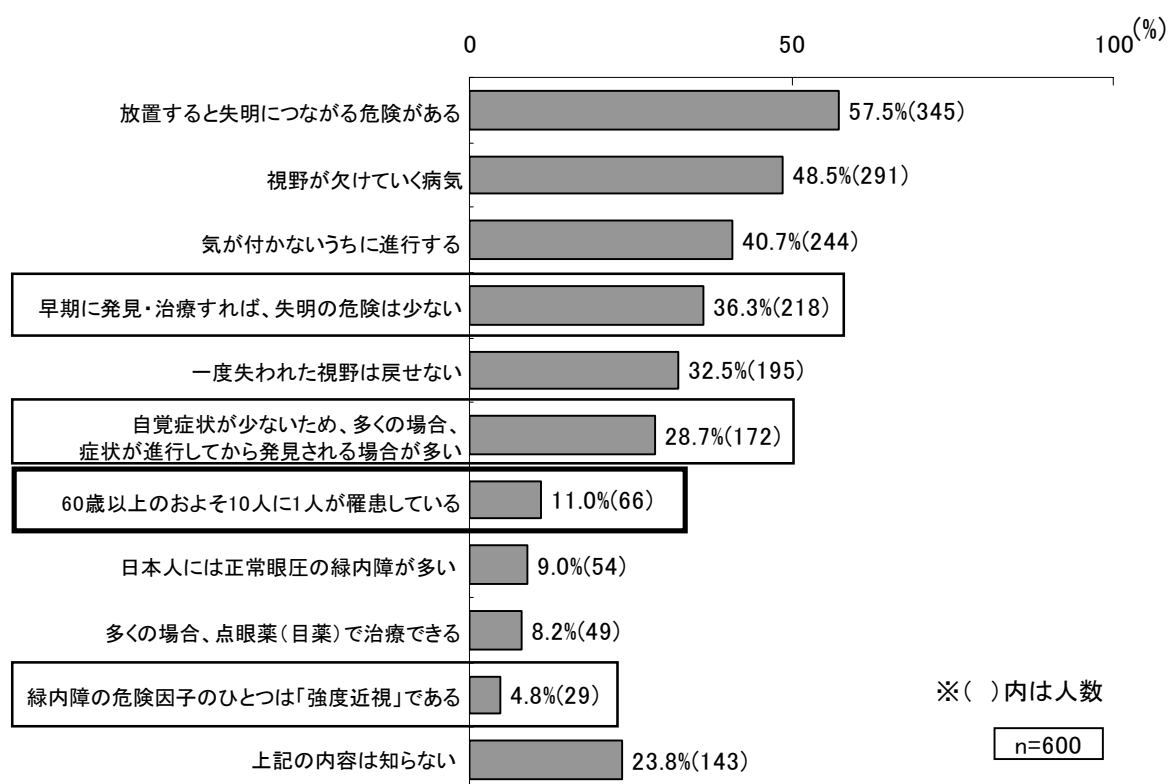
- いずれかのチェックで正常に見えないところがあった
- すべてのチェックで正常に見えた
- わからなかった



■ 緑内障について知っていること

「放置すると失明につながる危険がある」「視野が欠けていく病気」についてはそれぞれ 57.5% (345 人)、48.5% (291 人)と高い認知度になっているものの、調査対象者の年齢に関連する「60歳以上のおよそ10人に1人が罹患している」の項目では、11.0%(66人)と低い認知度にとどまっています。

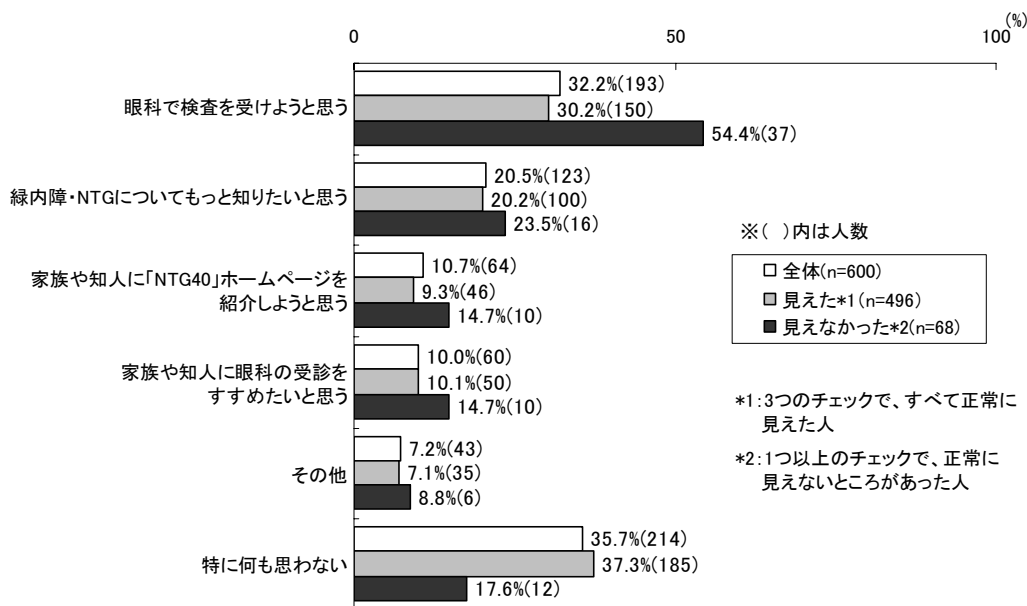
質問: 緑内障についてご存知のことを、下記の中からいくつでもお選びください(MA)



■「NTG40」閲覧後の評価

いずれかの視野チェックで「正常に見えないところがあった」と回答した人のうち、54.4% (68 人中 37 人) が「眼科で検査を受けようと思う」と回答しています。これは、すべての視野チェックで「正常に見えた」人の回答率(30.2%、496 人中 150 人)を 24.2 ポイント上回っています。

質問:「NTG40」ホームページをご覧いただいたあと、あなたが思ったことについて
あてはまるものをいくつでもお選びください(MA)



以上